

(二) 婦人教育をより計画的なものにしていく

(イ) 団体内に
昨年度の婦人指導者講習会以来小団
化の傾向は強くなった。学習意欲に
おける小団 おいても顕著なたかまりをみせてい
活動の推進
る。
婦人会の場合は小団化というものと
小団活動化という二つの傾向を同時
にもっているが、ここで取上げるも
のは後者である。

(ロ) 婦人学級
学級総数一、二六八、開設主体別に
の内容と経 見ると公民館が(六四%)婦人会の
営の合理化 事業として行われるもの(一六%)
しかも、それは学校当局が積極的
手を出し、公民館の名において行わ
れたりPTAの活動として行われたり
り、婦人会との共同で行われたりし
て形態も経営もすっきりしたものば
少い。多くは婦人講座のたぐいであ
る。

(ハ) 公民館活動をより望ましいものにしていく
○ 婦人学級研究集会

(イ) 町村合併
公民館総数九〇一、うち本館二四六
に伴う建物 分館六五五、独立公民館四五八(五
の整備 ○・八%)したがって独立公民館の
数を増すことが当面の問題である。
○ 研究地区の公民館の充実

(ロ) 専任職員
昭二十八年で一五七の専任職員が昭
の確保 三十年で三六〇名に増している、こ
の傾向を促進するとともに質的な向
上を期する必要がある。
○ 公民館職員講習会

(ハ) 住民の求
国庫補助配分基準に対する充足度は
める教員教 図書類がやや充足されているに過ぎ
材の充実 ず、館具類、保健体育具、産業教育
用具等はいずれも(三〇%)以下に
すぎない。

団体内の分裂活動ではなく、真に会
員が学習活動を展開しようとするば
必然的に小団化してくるものである
から、この傾向を促進するとともに
更に自主的活動たらしめたい。
○ 婦人指導者講習会

とりあえず本館の独立率を高めると
ともにその機動的な活動を促進す
る。そのため旧役場の改装転用に重
点をおく。
○ 研究地区の公民館の充実

昨年は一カ所で開催したが今年はプ
ロック別に昨年の公民館職員講習会
を引きつぎ、受講者の幅もひろめ
る。

目下促進している地方視聴覚ライブ
ラーの結成とともに周辺の個々の
公民館の設備内容を充実するよう勉
奨していく。

(四) みんなで指導者網をつくらせていく

(イ) 民間にお
点的な存在としてある指導者を意識
ける各種指 的にお互にむすびつき、練れた面と
導者の組織 しての存在たらしめる必要がある。
化 そして少くとも学校教育依存から脱
却したい。

(ロ) 有給職員
県でだけ行って不十分なので県の養
と有志指導 成研修の講習以外に、市町村におい
者の養成研 ても実施できるように十分計画的に予
修 算化させたい。

県としては二つの方法で進めてい
る。その一つは社会教育を研究して
いくグループであり、もう一つは社
会教育を促進していくグループであ
る。前者の目標は本県社会教育学会
を設立することにおき、目下その支
柱として「青年教育研究の友」およ
び「成人教育研究会」を結成推進し
ている。後者の目標は各出張所管
ごとに市町村長や議会人を含めた社
会教育協会または社会教育協議会を
結成し、その地方の社会教育を推
進する母体たらしめ予算も相当額捻出
してもらい、田村は既に結成済み。

社会教育指導資料を毎月発行してい
るがその外、前述の各種の指導者講
習を実施している。これを郡市
町村においても継続的に実施してい
ていきたい。

第三節 青少年教育はどこに目標をおいてどんな
ことをやってきたか

青少年教育の重要性にかんがみ、社会
教育の立場から、これが振興をはかるた
め年々努力してきたが、昭和三十一年度
は、特に働く青少年に重点をおき、その
教育体制をととのえていくために

1 青年学級の充実
2 年少勤労者の自主的な集団活動の強
化

地域社会の生産機構と、働く青少年の
生活条件に即応した青年学級の方途の究
明にねらいをおき、公民館主事、青年学
級主事、講師を対象として五月下旬から
六月月上旬にかけ、二泊三日で、県北(二
本松町、岳)県南(白河市、南湖)会津
(会津若松市)浜(磐城市、小名浜)で